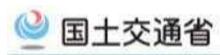
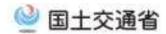
静岡県西部地域道路啓開検討会 道路啓開オペレーション計画について

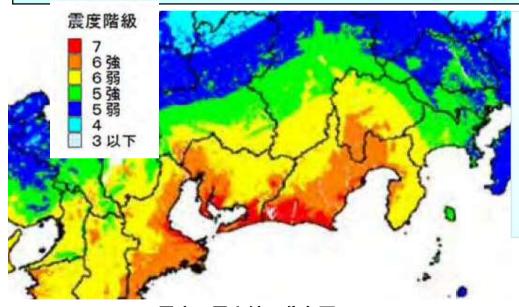
平成 30 年 12 月 13 日 (木)

国土交通省 中部地方整備局 浜 松 河 川 国 道 事 務 所





- ○平成23年3月11日、「東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)」が発生
 - 震度7に及ぶ地震動に加え、巨大な津波により、東日本一帯に甚大な被害が発生
- ○中部地方**(静岡県)においても、近い将来発生が予測されている東海・東南海・** 南海地震等、『**南海トラフ**』を震源とする巨大地震の発生が懸念
- ○東日本大震災を踏まえ、津波による甚大な被害が想定される、太平洋沿岸部での 救援・救護活動・緊急物資の輸送等を、迅速に行うための道路啓開オペレーション 計画を、あらかじめ関係機関が連携して策定し、共有していくことが重要



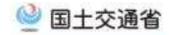
中部地方整備局管内において

- ◆想定される震度7の市町村:55市町 (うち、静岡県西部地域:8市町)
- ◆最大クラス (10m以上)の津波が:30市町 (うち、静岡県西部地域:6市町)
- ◆外海では、地震発生後**10分以内に1m**の 高さの**津波**が到達

震度の最大値の分布図

強震波形4ケースと経験的手法の震度と最大値の分布

(出典)中部版「くしの歯作戦」(平成30年5月改訂版)【道路啓開オペレーション計画】(案)



- ○道路啓開とは、緊急車両等が1車線だけでも、とにかく一刻も早く通れるように、 道路上のガレキを、横に押し退けるなどして、救援ルートを確保することをいう。
- ○大規模災害発生時では、応急・緊急復旧を実施する前に、救援ルートを確保する ための道路啓開が、非常に重要となってくるのである。

地震発生

道路啓開

応急復旧

本復旧

復

睴

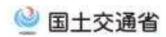




道路啓開の様子(東日本大震災)

(出典) 道路啓開オペレーション計画 (静岡県西部版) 本編,平成29年3月,静岡県西部地域道路啓開検討会

【参考】東日本大震災時における『くしの歯作戦』について



○東日本大震災の際に、震災直後に内陸から被災地への**啓開ルートを『くしの歯』として16ルートに集約**して、道路啓開を実施し、**早期に救援ルートを確保**。

◆第1ステップ

東北道、国道4号の縦軸ラインを確保

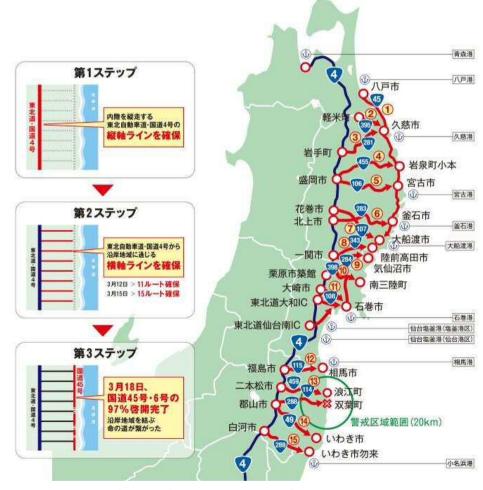
◆第2ステップ

三陸地区へのアクセスは東北道、国道4号からの横軸ラインを確保

- ・3/12 11ルートを確保
- ・3/14 14ルートを確保
- ・3/15 15ルートを確保

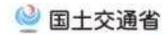
◆第3ステップ

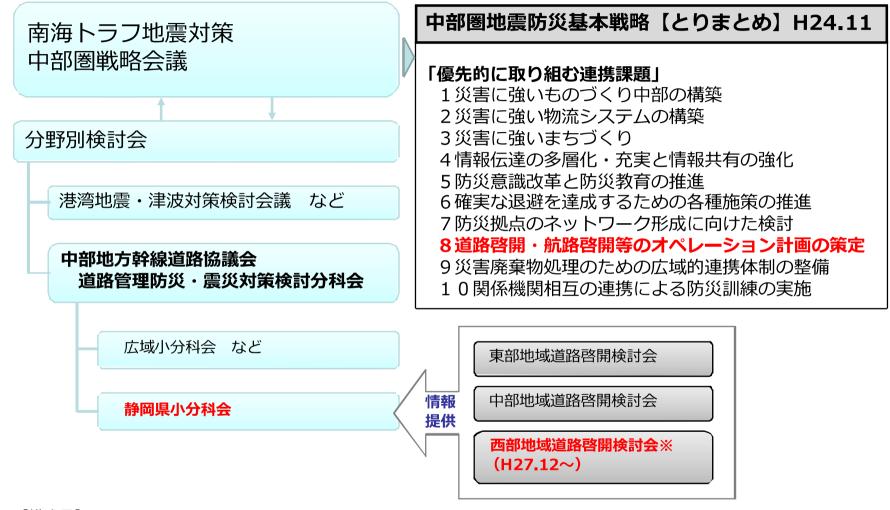
国道45号は、3月18日までに97%が 通行可能となる等、道路啓開は概ね 終了



(出典)東北地方整備局HP 「震災伝承館」

道路啓開オペレーション計画策定の枠組み

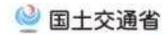




※【構成員】:

浜松河川国道事務所/静岡県危機管理部/静岡県交通基盤部/静岡県警察本部/浜松市/磐田市/掛川市/袋井市/ 湖西市/御前崎市/菊川市/森町/浜松市消防局/磐田市消防本部/掛川市消防本部/袋井市森町広域行政組合袋井消防本部/ 湖西市消防本部/御前崎市消防本部/菊川市消防本部/中日本高速道路(株)/(一社)浜松建設業協会/(一社)天竜建設業協会/ (一社)袋井建設業協会/中部電力(株)/西日本電信電話(株)/静岡県石油商業組合/(一社)日本建設機械レンタル協会

静岡県西部地域道路検討会のこれまでの取組について



- ○道路啓開オペレーション計画(静岡県西部版)を作成(平成29年2月) 緊急輸送ルートや、それらを啓開する体制・関係機関の役割分担等を設定
- ■緊急輸送ルート (step1~3のくしの歯ルート及び拠点アクセスルート) 及び作業担当区間



: 広域支援ルートの確保

Step 2 · 3 : 人命救助のためのルート・沿岸沿いルートの確保 → 概ね3日以内を目標